

1 血液事業の現状

本県における血液事業は、昭和39年8月献血推進についての閣議決定以来、国内の医療で使用されるすべての血液製剤を献血によって確保することを目指し、400mL献血の推進と血液製剤の適正使用に力を入れてきたところである。

血液製剤が将来にわたって安定的に供給される体制を維持する必要があることから、関係団体と連携し、献血に対する正しい理解の促進や、若年層献血者及び複数回献血者の確保等の献血運動を推進するとともに、医療機関における一層の血液製剤の適正使用の促進に努めている。

【表1 年度別献血者数】 下段（ ）内は計画目標数（16年度から策定）（単位：人）

年度	200mL 献血	400mL 献血	成分献血	合計
H30	6 (4)	145,968 (146,814)	52,159 (51,777)	198,133 (198,595)
R1	51 (0)	149,808 (145,077)	57,567 (57,794)	207,426 (202,871)
R2	65 (0)	148,546 (145,562)	64,262 (68,325)	212,873 (213,887)
R3	231 (0)	148,329 (146,061)	65,621 (67,974)	214,181 (214,035)
R4	568 (0)	152,530 (146,949)	64,395 (68,559)	217,493 (215,508)
R5	394 (555)	152,731 (148,740)	64,311 (59,043)	217,436 (208,338)

※R5年度は見込み

【表2 令和4年度年齢別・性別献血者数】（単位：人・%）

年齢	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	計
男性	7,326	19,252	23,289	38,376	43,688	20,847	152,778
女性	2,699	11,042	10,160	14,737	18,304	7,773	64,715
計	10,025	30,294	33,449	53,113	61,992	28,620	217,493
構成比 (R3年度)	4.6 (4.4)	13.9 (13.8)	15.4 (16.0)	24.4 (25.7)	28.5 (27.7)	13.2 (12.4)	100.0 (100.0)

【表3 令和4年度献血による採血量】（単位：L）

区分	目標	実績
全血献血	58,780	61,126
小計	58,780	61,126
血漿成分献血	26,152	23,768
血小板成分献血	12,194	13,007
小計	38,346	36,775
合計	97,125	97,901

※小数点以下の端数処理により、合計が一致しない場合がある